



2002.8.1
平成14年

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508

6月定例会

議長に中村孝治議員 副議長に伊藤昌弘議員を選出

一般会計補正予算など11議案を可決

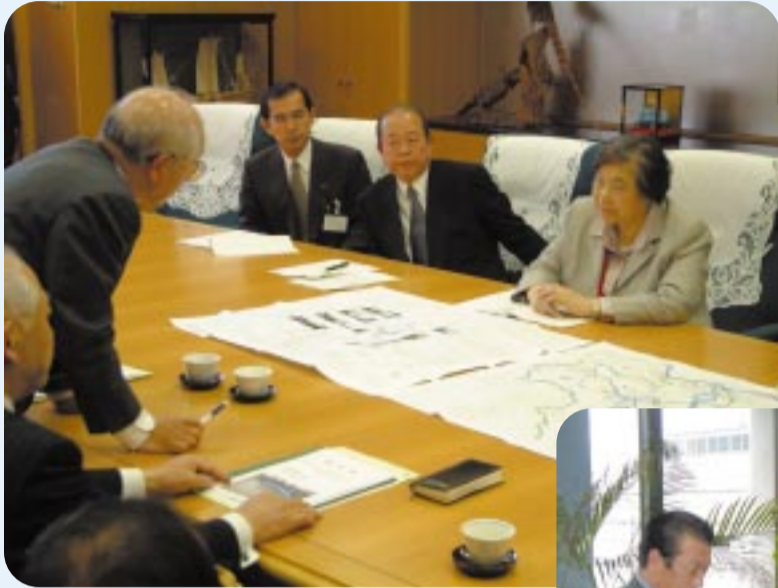
6月定例会は、6月3日から19日までの17日間にわたり開かれました。今定例会では、初日に正副議長の選挙を行い、議長に中村孝治議員、副議長に伊藤昌弘議員を選出、また、各常任委員・議会運営委員の選任（4ページに掲載）を行いました。
市長からは、「平成14年度佐倉市一般会計補正予算」など議案11件が提出され、すべて原

案のとおり可決しました。
請願については、「中小企業の金融問題に関する請願」、議員発議については、「雇用の確保を求める意見書」など6件を提出し審議しました。
一般質問には、各会派の代表質問に7人、個人質問に9人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

印旛沼の総合治水及び環境保全対策の推進を

県へ要望書提出

災害に強いまちづくりの
推進に向けて



堂本知事、鈴木土木部長に現状を説明する桐生(前)市議会議長



地元選出県議会議員とともに花沢(前)県議会議長に要望書提出



昨年の水害で冠水した幹線道路
(国道296バイパス：寺崎地先)

昨年10月10日の集中豪雨により高崎川の一部及び寺崎都市下水路の水位が宅地地盤高を越え、JR佐倉駅周辺の表町や鍋木町地区が床上、床下浸水するなどの大きな被害に見舞われました。
4月22日、渡貫博孝市長と桐生政広(前)市議会議長、市議15名は千葉県庁に堂本暁子県知事、花沢三郎(前)県議会議長を訪問、「印旛沼の総合的な治水及び環境保全対策の推進」を求めて要望書を提出しました。
要望書では、3月定例会で全員賛成で可決した「印旛沼の治水事業の推進」は市の努力だけでは限界があり、県が実施している鹿島川、高崎川改修事業の積極推進を要望するとともに、印旛沼の総合的な治水・水質浄化対策の早期事業化を求めました。

長嶋茂雄氏 佐倉市名誉市民に

読売巨人軍終身名誉監督長嶋茂雄氏 顕彰

地元関係者の他、母校である県立佐倉高校の野球部員が見守るなか、5月20日、推挙状と名誉市民章の贈呈が行われました。



市庁舎正面玄関で歓迎を受ける長嶋氏



顕彰式を終え、市長・市議会議員とともに(本会議場にて)



後輩と握手!

表彰

議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、次の議員が表彰されました。

特別表彰議員在職35年
議長会より

安川 政好 議員
一般表彰議員在職15年

倉田 彰夫 議員
勝田 治子 議員
吉井 大亮 議員

市政に関する 一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。6月定例会では、10日から13日までの4日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館で会議録(9月上旬発行予定)をご覧ください。

代表質問

市長の政治姿勢について

問 来年の統一選挙を控え、市長職として二期目もまもなく期限がくる。これまでの自己評価・また来期の思いはどうか。

答 公約に掲げた志津霊園問題は千葉地裁で、勝訴という結果を得たが、道路開通に向けての工事は1mも進んでいない。交渉は難航しており、まだ力が足りなかつたと反省している。その他については実施計画の実現率で見ると約八割近

さくら会生 喜三男

問 経営の安定や経営規模の拡大を図っている農業経営者への支援策はどうか。

答 地域農業の担い手である農業者には、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者制度を活用し、経営

個人質問

調整手当の10%は何時まで続けるのか? 藤崎良次

問 公務員への給料の割増である調整手当は、佐倉地区について、国は0%、千葉県は5%とされている。しかし、佐倉市は10%の調整手当を職員に支給している。調整手当支給に要する経費はいくらか。また、以前の議会答弁の検討結果はどうなっているのか。支給率は20%・30%にしても違法ではないのか。

問 市町村地域福祉計画の策定が義務づけられている。この計画は、既存の高齢者保健福祉計画、障害者計画、子育て支援計画の3つのプランを束ね、地域福祉すべての領域を抱え、支えるシステムをつくるものである。企画から策定、行動、評価に至るプロセスすべてに住民参加が原則である。市民参加の手法はどのようにしていくのか。

問 子どもの読書活動推進法が昨年12月に施行され、子どもの読書推進についての責務を国のみならず県や市にも定め、予算措置への努力も求めている。市内の学校図書館は蔵書基準を満たしているのか。また、十分な図書購入費は確保されているのか。国は、公立小中学校に対して5年間で総額650億円の図書購入費を地方交付税で措置すると決めた。

問 佐倉市電子自治構築への取り組みはどうか。佐倉市「情報化基本計画」の早期策定を望む。

問 西志津小分離校新設を求める陳情書が市民三千人余の署名とともに提出された。市長は「重く受け止める」と表現したがその意味は、議会の承認を得てスポーツ等多目的施設用地として取得している。現時点で西志津小分離校新設の計画は総合計画の中にはまだ位置づけられていない。土地の取得に対して住民訴訟も出されており、これらの経緯をふまえ、分離校を建設すると直ちに言えないが、署名した方々の重みは十分受け止める。

問 西志津スポーツ等多目的施設用地について学校としての機能が、あらゆる人が集える市民会館「西志津ひろば」をつくる市民の会から提出されているが、どのように生かすのか。

問 西志津小学校は児童数が減少しているが、白銀地区に開校後学年1クラスにまでなる分離校を建設する。一方、西志津小学校は今後33学級まで増加予測されているが、プレハブ校舎で対応するという。同じ行政区内の対応の不公平さをどのように説明するのか。

行政改革について

問 「佐倉市電子自治構築への取り組みはどうか。佐倉市「情報化基本計画」の早期策定を望む。



佐倉市IT講習会での学習風景【志津図書館】

答 電子自治への取り組みは市民サービスの向上と行政の効率化につながり、大事なことと考えている。市のホームページも充実を図っていく。インターネットを使った公共施設利用予約システムを15年度から稼働できるように準備している。連絡長からの要望書についてもインターネットを利用して提出できるように実施に向けて取り組む。「佐倉市情報化基本計画」は広報やホームページに(案)を掲載し、市民の意見を伺った後決定したい。

問 利用計画の一つの提案として今後の検討の視野に入れていきたい。

問 西志津小学校は児童数が減少しているが、白銀地区に開校後学年1クラスにまでなる分離校を建設する。一方、西志津小学校は今後33学級まで増加予測されているが、プレハブ校舎で対応するという。同じ行政区内の対応の不公平さをどのように説明するのか。

問 西志津小学校は児童数が減少しているが、白銀地区に開校後学年1クラスにまでなる分離校を建設する。一方、西志津小学校は今後33学級まで増加予測されているが、プレハブ校舎で対応するという。同じ行政区内の対応の不公平さをどのように説明するのか。

問 西志津小学校は児童数が減少しているが、白銀地区に開校後学年1クラスにまでなる分離校を建設する。一方、西志津小学校は今後33学級まで増加予測されているが、プレハブ校舎で対応するという。同じ行政区内の対応の不公平さをどのように説明するのか。

問 西志津小学校は児童数が減少しているが、白銀地区に開校後学年1クラスにまでなる分離校を建設する。一方、西志津小学校は今後33学級まで増加予測されているが、プレハブ校舎で対応するという。同じ行政区内の対応の不公平さをどのように説明するのか。

問 西志津小学校は児童数が減少しているが、白銀地区に開校後学年1クラスにまでなる分離校を建設する。一方、西志津小学校は今後33学級まで増加予測されているが、プレハブ校舎で対応するという。同じ行政区内の対応の不公平さをどのように説明するのか。

問 西志津小学校は児童数が減少しているが、白銀地区に開校後学年1クラスにまでなる分離校を建設する。一方、西志津小学校は今後33学級まで増加予測されているが、プレハブ校舎で対応するという。同じ行政区内の対応の不公平さをどのように説明するのか。

公明クラブ

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

答 条例化については今後研究したい。市内でも犯罪が増えてきており、市民の皆さんにも協力いただき防犯に取り組みたい。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。

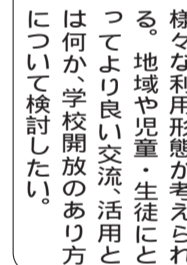
問 安全なまちづくりのための条例などを定めるかどうか。



市内最大の過大規模小学校である西志津小学校での運動会



足跡を遺した、旧佐倉藩士「西村茂樹」



生産者の顔が見える農産物の『地産地消』【弥富農産物直売所】

一般質問通告要旨

代表質問

は持ち時間2時間、()内は会派名

栗生喜三男(さくら会)	
1. 市長の政治姿勢について	4. 志津霊園問題について
2. 国立佐倉病院の後医療について	5. 産業振興について
3. 災害対策について	6. 教育問題について
森野 正(公明クラブ)	
1. 行政改革	2. 防犯対策
宮部恵子(市民ネットワーク)	
1. 市長の政治姿勢について	3. 佐倉市教育長期プランについて
2. 子育て支援について	4. 志津霊園問題について
西田三十五(五月会)	
1. 佐倉出身の政治家・教育家・思想家「西村茂樹」先生没後100年 対しての市長の政治姿勢について	5. 小・中学校の余裕教室について
2. 回覧板について	6. 不法投棄禁止看板について
3. 撤去した放置自転車について	7. 専決処分報告について
4. 市営住宅について	8. 理容助成制度について
臼井尚夫(市政会)	
1. 志津霊園道路の開通対策について	3. 人口動態について
2. バランスシートから見た市財政について	
中原英雄(創生)	
1. 市町村合併の在り方	3. 行財政の改革は急務
2. 市長の政治姿勢	
冨塚忠雄(新社会党)	
1. 有事法制について	3. 学校施設の充実について
2. 後医療の病院建設と周辺整備について	4. 高野川の改修について

個人質問

藤崎良次	
1. 市長の政治姿勢	4. 水道事業の進め方
2. 教育問題等	5. 国立病院後医療
3. 市職員の市民への対応	
服部かをる(市民ネットワーク)	
1. 地下水の保全について	
2. 交通問題について	
3. 佐倉市、八千代市環境問題連絡協議会の役割について	
中村春子(市民ネットワーク)	
1. 福祉問題	2. 環境問題
長谷川稔(公明クラブ)	
1. 都市計画街路問題	2. 教育問題
勝田治子(新社会党)	
1. 男女平等施策について	
2. 子どもの権利条約に伴う市の施策について	
3. 学校週5日制の対応について	
4. 図書館整備計画と学校図書館の充実について	
吉井大亮(公明クラブ)	
1. 行政一般	
檀谷 正彦(さくら会)	
1. 自治立法権	3. 教育問題
2. 農業問題と総合的地域環境整備	4. 男女共同参画社会
神田 徳光(公明クラブ)	
1. 環境問題について	2. 市民の健康づくり推進について
戸村庄治	
1. 政治姿勢	2. 福祉問題
	3. 農業問題

9月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

初 日 9月2日(月) 午後1時から
 一般質問 9日(月)～12日(木) 午前10時から
 最終日 9月30日(月) 午後1時から

お茶の間でもご覧になれます

CABLENET296の5チャンネルでは、本会議の様を翌日に放送します。(放送日は予定です)

初 日 9月3日(火) 午後5時30分から6時30分
 一般質問 10日(火)～13日(金)

午後5時30分から10時
 番組の始めに各議員の放送時間帯を
 お知らせいたします。
 最終日 10月1日(火) 午後5時30分から7時



佐倉市議会のホームページもご覧ください

佐倉市のホームページからどうぞ！
<http://www.city.sakura.chiba.jp>
 オリジナルページ 議会事務局をクリック
 一般質問の放送日に各議員の放送時間帯を掲載しています。

志津霊園道路の開通対策
問 開通に対しての方策は、凍結とはどういう意味か。交渉不成立の場合、寺に対し訴えの提起も含め、どのような態度で臨むのか。
答 道路開通と損害回復を目的として、本昌寺側との話し合いは継続中である。基本的な事項については確認書に基づいて協議をする。寺が所持する1億5千万円は基本合意が成立したらすぐに市に返還する。下志津畔田の代替地の奥の駐車場部分については地盤改良、調整池の計画高水位までの盛り土を限度に市で負担する。基本的な合意ができたら、1年を目途に墓地使用者等の関係権利者の同意をとりつけていく。以上の提案に対して折衝を続けていく。最終的に合意が得られない場合は、今後訴訟などの可能性もある。

人口動態について
問 市内の人口増加は停滞している。最近の開発行為は、農村部についても公的な施設の整備やサービスが届くよう基盤整備していく。地域間交流を活発化させることでそれぞれの地域が個性的に発展することを考える。

市 政 会
臼井尚夫
問 現在計画中の井野東区画整理事業や寺崎特定土地地区画整理事業、さらには第2ニューカリーが丘の開発等が計画されている。これらを始めとして社会経済情勢が回復すれば人口増加は見込まれると予想している。
答 農産物についても公的な施設の整備やサービスが届くよう基盤整備していく。地域間交流を活発化させることでそれぞれの地域が個性的に発展することを考える。

市長の政治姿勢について
問 行政の価値観を何に求めているのか。生命の尊厳を第一義に考えるべきではないか。
答 表町、錦木町の水害のように自然災害であつても、最低限床上浸水を防ぐというところに行政の価値、存在を示すべきではないか。
問 生命の尊厳という点では異論がない。自治体運営の観点からすれば住民の福祉の向上が自治体の基本的な役割、目的であると考えられる。
答 私の価値観は地方自治の本旨として地方自治法に例示されている内容を大事にしていくことと考えている。3月議会では表町の水害



昨年10月の集中豪雨による、家屋の床上浸水被害【錦木町地先】

創 生
中原英雄
問 補佐員などを採用することで対応できる業務はその型で対応する。現に図書館の開館時間延長については外部から人材を派遣して対応している。職員の定数管理についても、退職に対する補充を極力抑制する型を進めている。逐次年度計画で進め、行財政改革に取り組んでいく。
答 補助金はサンセット方式で見直しを図っている。

有事法制について
問 「佐倉市平和行政の基本に関する条例」を制定し、市民が平和で安全な環境のもとに基本的な権利と豊かな生活を維持できるように、平和と都市宣言をした。この精神に基づけば、有事法制は相反するものであり、反対すべきではないか。
答 平和を守っていくため、平和条例の趣旨は大事にしていく。国会の審議や法案の提出に際しては、地方自治体に対して十分な説明を行い、意見を聴取しながら慎重に進めるように全国市長会の総会において決議している。

学校施設の充実について
問 井野小学校の増築計画を伺う。また、耐震診断の結果Cクラスとされた志津中学校の早期建替えはいつ頃を考えているのか。
答 井野小学校は、現有施設で平成16年度の25学級まで対応できると判断している。17年度に支障をきたさないように整備計画を立てていく。なお地域との交流、PTAや地域ボランティアなどの活動ができるスペースなど、学校と家庭、地域の連携が深められる学校開放施設づくりを検討する。

新社会党
冨塚忠雄
問 市民の避難場所としての重要性もあり、優先度の高い体育館の改築については平成15年度に設計を行い、平成16年度に工事を行う計画である。校舎棟については体育館改築終了後順次計画的に進めていく。
答 市民の避難場所としての重要性もあり、優先度の高い体育館の改築については平成15年度に設計を行い、平成16年度に工事を行う計画である。校舎棟については体育館改築終了後順次計画的に進めていく。

農業問題について
檀谷正彦
問 農業問題に対する佐倉市の取り組みとしては、現在の農家の大半の形態である「小規模自給自足型」から、海外との競争を可能にする「大規模土地所有型」と直売などを旨とする「生産販売型」に集約していくことが必要である。
答 現在監視カメラの設置はしていないが、今後研究していく。監視員制度により13年度61件の通報があった。適正処理対策連絡協議会とともに、佐倉郵便局外務職員の情報提供による早期発見、迅速な

環境問題について
公明クラブ
神田徳光
問 佐倉市においても、不法投棄防止策の効果とともに、不法な野焼き防止のためにも監視カメラの設置が考えられないか。不法投棄監視員制度があるが効果はどうか。
答 佐倉市において、不法投棄防止策の効果とともに、不法な野焼き防止のためにも監視カメラの設置が考えられないか。不法投棄監視員制度があるが効果はどうか。

介護保険の見直しに関して
戸村庄治
問 本年度は、介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画の見直しの年である。見直しにあたり、市は現行制度の問題点と今後の改善点についてどのように考えているのか。
答 介護保険は、制度導入から3年目に入り、認定申請者件数も順調に伸び、制度の趣旨がご理解いただけるようになったと受け止めている。一方、介護サービスの複雑さ、ケアマネジャーの資質向上、介護報酬改善、低所得者への対応、介護認定のあり方、さらなる制度の啓発も指摘されている。また、特別養護老人ホームの待機者対策等も課題である。

議員ご提案の農業研修センター設置は、将来の佐倉市の農業及び農村振興に必要なものであると考えている。
答 議員ご提案の農業研修センター設置は、将来の佐倉市の農業及び農村振興に必要なものであると考えている。

各常任委員会の構成が 変わりました

委員長 副委員長



神田徳光 藤崎良次 櫻井 豊 伊藤昌弘
安川政好 秋葉 詳 押尾豊幸 勝田治子

総務 常任委員会

文教福祉 常任委員会



清宮 誠 中村孝治 吉井大亮
木原義春 宮部恵子 中村克凡 倉田彰夫



西田三十五 櫻沢四郎 望月清義
白井尚夫 服部かをる 桐生政広 長谷川稔

経済環境 常任委員会

建設 常任委員会



粟生喜三男 中村春子 森野 正 戸村庄治
中原英雄 冨塚忠雄 檀谷正彦 寺田一彦

6月定例会の議案と議決結果

は全員賛成、 は賛成多数、 は賛成少数

市長提出議案	丸数字は議案番号	本会議の議決結果
① 専決処分の承認を求めることについて 平成13年度佐倉市一般会計補正予算。白井小学校舎改築事業に係る国庫支出金及び市債の確定等により3022万4000円を増額し、予算総額415億302万6000円。		承認
② 専決処分の承認を求めることについて 佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について。個人市民税の非課税限度額等の見直しと上場株式等に係る申告分離課税等の特例措置の創設。		承認
③ 専決処分の承認を求めることについて 佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について。地方税法の改正に伴う条文の整備。		承認
④ 平成14年度佐倉市一般会計補正予算 参議院千葉県選出議員補欠選挙に係る費用4728万9000円を増額し、予算総額は、398億6228万9000円。		原案可決
⑤ 佐倉市青年館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について 土浮青年館を廃止することに伴うもの。		原案可決
⑥ 佐倉市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について ユーカーリが丘三丁目地区に地区計画を導入。		原案可決
⑦ 佐倉市都市公園条例の一部を改正する条例制定について 直弥公園の開設と大作公園の一部廃止に伴うもの。		原案可決
⑧ 佐倉市道路線の認定について 井野地先の1路線を佐倉市道路線として認定。		原案可決
⑨ 佐倉市道路線の認定について 白井台地先の1路線を佐倉市道路線として認定。		原案可決
⑩ 佐倉市道路線の認定について 白井地先の1路線を佐倉市道路線として認定。		原案可決
⑪ 佐倉市議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について 地方自治法の改正に伴う条文の整備。		原案可決
請 願	丸数字は請願番号	
⑦ 中小企業の金融問題に関する請願		採 択
発 議	丸数字は発議案番号	
① 佐倉市議会会議規則の一部を改正する規則制定について 議員の派遣について、条文の整備。		原案可決
② 雇用の確保を求める意見書		原案可決
③ 地下水採取に関し、千葉県環境保全条例の見直しを求める意見書 水道水源の地下水揚水規制を見直し、飲み水としての優先的利用を求めるもの。		原案可決
④ 「医療制度の抜本改革」に反対する意見書 給付を切り下げ、負担を増大させる医療制度改革に反対するもの。		否 決
⑤ 「有事法制関連3法案」の撤回を求める意見書 政府が進めている有事法制の立法化中止を求めるもの。		否 決
⑥ 中小企業の金融問題に関する意見書		原案可決

議会の構成

議長 中村 孝治
副議長 伊藤 昌弘

平成14年6月11日現在

会派・各常任委員会等

委員会 会 派	総 務 常任委員会	文教福祉 常任委員会	経済環境 常任委員会	建 設 常任委員会	議会運営 委員会	議会報 編集委員会
さくら会	押尾 豊幸 櫻井 豊 伊藤 昌弘 秋葉 詳	清宮 誠 中村 孝治 中村克凡	桐生 政広 櫻沢 四郎 望月 清義	檀谷 正彦 粟生喜三男 寺田 一彦	清宮 誠 桐生 政広 秋葉 詳 中村 克凡	粟生喜三男
公明クラブ	神田 徳光	吉井 大亮	長谷川 稔	森野 正	長谷川 稔	神田 徳光
市民ネットワーク		宮部恵子	服部かをる	中村 春子	服部かをる	中村 春子
市 政 会		倉田 彰夫	白井 尚夫		倉田 彰夫	白井 尚夫
創 生	安川 政好			中原 英雄	中原 英雄	中原 英雄
新 社 会 党	勝田 治子			冨塚忠雄	勝田 治子	冨塚 忠雄
五 月 会		木原 義春	西田三十五		西田三十五	西田三十五
会派に属さない議員	藤崎 良次			戸村 庄治		

会派代表者、委員長、副委員長

組合議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合	佐倉市八街市酒々井町消防組合
伊藤昌弘、吉井大亮	清宮 誠、冨塚忠雄、中村克凡
印旛利根川水防事務組合	印旛都市広域市町村圏事務組合
櫻沢四郎	中村孝治
佐倉市、酒々井町清掃組合	佐倉市監査委員
服部かをる、中原英雄、木原義春	望月清義
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	佐倉市農業委員
秋葉詳、長谷川稔	白井尚夫、粟生喜三男、寺田一彦

懲罰動議

一般質問中の発言に対し提出された「宮部恵子議員に対する懲罰動議」の概要は次のとおりです。
本動議提出により懲罰特別委員会委員を次のとおり選出しました。
櫻沢四郎 冨塚忠雄
押尾豊幸 清宮 誠
桐生政広 中村春子
白井尚夫 西田三十五
長谷川稔 安川政好
(は委員長、は副委員長)
会期中に開催された委員会の審査概要と結果について、委員長が最終日に報告を行いました。懲罰を科すべきとする立場からは、宮

部議員の発言は、意識的に特定の個人を中傷する意図を含んだものであり、懲罰に値するという意見が出され、また、懲罰を科すべきではないとする立場からは、宮部議員の発言は、単に他の人の発言を引用したものであり、中傷の意図は感じられない、懲罰には当たらないとする意見が出されました。委員会での採決の結果、賛成多数により懲罰を科すべきではないものと決しました。
この後、本会議において、懲罰を科すべきものではないとするものについて採決を行い、賛成多数により懲罰を科さないものと決しました。

佐倉市の先進施策に学ぶ

平成13年度行政視察
受入状況について

鹿兒島県国分市上野原遺跡等調査研究特別委員会
文化財を生かしたまちづくり
兵庫県高砂市、愛知県蒲郡市、静岡県富士宮市議会運営委員会
本会議TV中継放送
静岡県静岡市環境政策特別委員会
市民の森の管理運営
佐賀県川副町産業建設常任委員会
土地改良事業、農作業の体系
大阪府河内長野市福祉教育常任委員会
西部保健福祉センター
北海道森町民生文教常任委員会
生涯学習 市民カレッジ
京都府宇治市建設水道常任委員会
佐倉市景観条例について
(他に会派視察等9団体)

議会百景

「議会だより」の発行により、議会の活動状況を広く市民の方々にお知らせをし理解・関心を高めることは、市議会の活性化につながります。
議会は、議会報、議中継について、「広報」的姿勢を脱却し、「情報公開」の姿勢を示すべきであるといわれます。
佐倉市議会も、議中継放送、議会だより、ホームページの充実により、さらに「開かれた議会」を目指したいと考えます。
(議長 中村孝治)

平成十四年度の編集委員が決まりました。今号は初めての試みとして、多色刷りにし目立たない「だより」から目立つ「だより」への刷新を図ってみました。議会百景も編集委員が交代で執筆することになりました。
編集委員全員が力を合わせ、市民の皆様にも読みやすく、親しみのある議会報を目指し努力してまいります。
(議会報編集委員会 西田三十五)

議会活動をお知らせします

平成14年度 議会報編集委員
中村 春 委員、冨塚委員、粟生委員
白井委員、神田委員、西田座長、中原委員

